

患者さん癒やす「黄色いテーブル」

室蘭・せいてつギャラリー

丘上さん油彩展



「患者さんたちが少しでも元気になれば」と話す丘上さん

室蘭市白鳥台に住む丘上恵子さんの油彩展が、知利別町の製鉄記念室蘭病院内のせいてつギャラリーで始まった。色鮮やかで明るい

作品が患者や通院者たちの心を癒やしている。6月27日まで。
丘上さんは、室蘭美術協会会員。札幌市在住中に砂

田友治氏の師事を受けた。現在は札幌を拠点に活動する油彩画グループ「空間u」に所属している。室蘭での個展開催は初めてとなる。

ギャラリーには、丘上さんが15年ほど続けている「黄色いテーブル(なかまたち)」のシリーズを7点展示。黄色いテーブルの上には、洋ナシやマスカット、花瓶に入ったチューリップ、アルマジロの置物などさまざまな品物が置いてある静物画を描いた。

丘上さんは「楽しい作品だと思ってくれたらうれしい」と笑みを浮かべている。

(坂本綾子)